

# 《拓の会ニュース》

Vol.13

## ■拓の会例会予定（8月）

☆オブザーバー参加のお申し込みは事務局まで。（TEL: 0155-22-3611）

第1G	<ul style="list-style-type: none"> <li>■日 時：8月18日（水）19:00～21:00</li> <li>■会 場：同友会会議室またはZOOMでの参加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■テーマ：SDGsと企業経営について</li> <li>■話題提供者：(株)共同電設 代表取締役 原田 健太 氏</li> </ul>
第2G	<ul style="list-style-type: none"> <li>■日 時：8月26日（木）19:00～21:00</li> <li>■会 場：同友会会議室またはZOOMでの参加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■テーマ：調整中</li> <li>■話題提供者：調整中</li> </ul>
第3G	<ul style="list-style-type: none"> <li>■日 時：8月19日（木）19:00～21:00</li> <li>■会 場：同友会会議室またはZOOMでの参加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■テーマ：異業種参入への道のり</li> <li>■話題提供者：宮本商産(株) 課長 佐藤 裕 氏</li> </ul>
第4G	<ul style="list-style-type: none"> <li>■日 時：8月3日（火）19:00～21:00</li> <li>■会 場：十勝農機（株）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■テーマ：設備投資への決断と補助金の活用方法</li> <li>■話題提供者：十勝農機(株) 取締役社長 飯島 裕治 氏</li> </ul>

終了

## ■拓の会例会報告（7月）

### <第1グループ>『侃々諤々』グループ 記 録：岡村氏

- 日 時：7月21日（水）19:00～21:00
- 場 所：同友会会議室またはZOOM参加
- 参加者：17名
- テーマ：経営も 身体も リスクマネジメント
- 話題提供者：合同会社ひかる 代表 高岡 玄 氏

#### 【感想・報告】

カイロプラクティック学士を修得されている高岡さん。自社事業では治療院、美容サロン、児童福祉と多角な経営をされており、スポーツレーナー、セミナー講師までされていると伺いました。自分が興味を持つこと、他人が不快不自由に感じることを積極的に事業内容に加えておられ、患者の体と心のケアを患者と向き合い話し合いながら施術、指導されているということです。健康を保つには、食事と運動、質の高い一定時間の睡眠量であるとおっしゃられていましたが、本人が寝る暇もないのではと思わせる仕事の質と量を感じました。数多い治療院の中、よい先生を見分けるコツは施術するだけではなく、患者と向き合い話を聞き不具合の神髄を確かめ的確な施術が出来る事だとおっしゃっておられました。

今回、会員の体の不調、不安に向き合い的確（と思われる）なアドバイスされる高岡さんの言葉は説得力があり患者を安心させるに充分であると思いました。さらに今回感じたのは、接客、顧客を要する事業ではその技術、営業力に卓越するばかりではなく相手の気持ちに向き合える心理を読み解く力、納得させる理論に基づいた相手を思いやる言葉というものが大切であることを勉強させていただきました。

### <第2グループ> 『多様な労働環境・働き方を知り、考え、学びあう』グループ 記 録：小関氏

- 日 時：7月30日（金）19:00～21:00
- 場 所：同友会事務局及びZOOM
- 参加者：12名
- テーマ：障がい者雇用セミナーに参加
- 話題提供者：(株)つながり 代表取締役 北村 直也 氏

#### 【感想・報告】

北村社長から、就労支援施設のインターンシップの取り組みと、障がい者雇用までの流れについて、具体的に事例を交えながらすこ〜く分かりやすいお話を聞くことが出来ました。

インターンシップは、①まずは施設関係者と知り合うこと、②障がい者ができる仕事を確認して、③自社にマッチした障がい者を探す、④模擬面接をして、⑤インターンシップ開始、⑥終了後に振り返りをするという流れです。もし、インターンシップを受け入れた人（障がい者）で、合う人がいた場合には雇用に向けて進めて行くということです。

この形は、最初の段階で自社にマッチした障がい者を採用することが出来るため、雇う側（企業）も働く側（障がい者）もお互いに安心して働くことが出来ます。また、雇用後の困りごとが出た時にも就労支援施設の職員に相談することが出来るため、結果として長く働き続けられることに繋がるということです。印象に残った言葉は、インターンシップは高校生のバイトを頼む感じでOKということです。施設関係者と知り合うことさえできれば、難しくなくスムーズに進んで行くと感じました。

このセミナーの様子同友会の活動は、知り合うための絶好の場でもあるのだと改めて実感できました。北村社長と同業種の私も、このインターンシップの取り組みを参考にさせていただこうと思いました。

### <第3グループ> 『とがちの魅力を考える会』グループ 記 録：津田氏

- 日 時：7月15日（木）19:00～21:00
- 場 所：そば居酒屋 波瀾万丈 五番館店
- 参加者：4名
- テーマ：波瀾万丈の継承から店舗運営について
- 話題提供者：(株)カオカ企画 代表取締役 片岡 正太郎

#### 【感想・報告】

5番館の1階にお店を構える波瀾万丈にて二代目代表の片岡様にお話を聞くことができました。今年で25年続いているとの事で今まで培ってきた仕入れ先だったり、直接の農家さんや漁師さんとのつながりを持っていたり、しっかりと継承されて店舗運営されている事は一朝一夕ではできないと感じました。本日も獲れたての季節初めのトウモロコシの天ぷらや、根室産のほやなど、十勝だけでなく北海道の食材を味わえる居酒屋でした。メの蕎麦も二次会に出て行ったお客様がまた三回会として戻ってきて頂くために考案されたとの事。観光客のみならず地元のお客様を取り込む工夫などが長きにわたって店舗運営できている結果と勉強させていただきました。

コロナ禍においても奮闘されているお話を聞けてとても刺激になりました。



### <第4グループ> 『経営者の財務』グループ 記 録：尾藤氏

- 日 時：7月14日（水）19:00～21:00
- 場 所：同友会会議室またはZOOM参加
- 参加者：11名
- テーマ：60歳以上の給与と年金問題～会社と社員が困らない雇用について～
- 話題提供者：一般社団法人ちっぴす 代表理事 及川 抄織 氏

#### 【感想・報告】

60歳以上の給与と年金問題～会社と社員が困らない雇用について、一般社団法人ちっぴす代表理事及川抄織様より話題提供いただきました。及川様のお話はとても深い思いを持たれた雇用のお話して有りました。一般社団法人ちっぴすでは、国が70歳定年制導入を視野に目標を掲げています中で、既に高齢者の雇用をおすすめており、70歳定年制を定めていること。及川様は能力の有る60歳以上の方を現在2名雇用されているとの事。60歳を迎えた定年後の再雇用ではなく、及川様の雇用に対する使命として若い方を雇用する事と同じ目線にて新社員として雇用されているとの事。世間一般的には、60歳定年を迎えた方は30パーセント程度賃金の方が下がることが多いが、賃金面でも若い方と遜色ない額を提示されているとの事。雇用に対する使命感が大変強く、及川様の人間力を感じさせられました。

しかし、在職者年齢年金制度により総報酬額によっては、全額支給、支給停止に成る場合があるとの説明を宇佐美社会保険労務士事務所代表宇佐美敏文氏よりお聞きする事が出来、国の制度を良く理解する事が60歳以上の方を雇用する上で大切である事を経営者の財務として再認識する例会でありました。